

脊髄髄膜瘤の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は医学倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 レセプトデータベースを用いた脊髄髄膜瘤に関する疫学研究およびヘルスサービスリサーチ

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 脳神経外科・診療教授 氏名 埜中 正博

《研究の目的》 レセプト（診療報酬請求明細書）データベースを活用することにより、脊髄髄膜瘤に関する疫学研究とヘルスサービスリサーチを行うことでわが国における脊髄髄膜瘤患者や脊髄髄膜瘤診療の実態を明らかにする。

《研究期間》 研究許可日～西暦2026年6月30日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

脊髄髄膜瘤の患者さんで、2005年1月1日から2020年3月31日の間に日本の医療機関で保険診療を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療レセプトデータより得られる診断名、年齢、性別、診療した施設の規模、使用した医薬品
診療行為（処置、手術など）、診療行為（処置、手術など）、診療に用いた材料、入院に関する情報
（入院期間など）

《この研究に関する情報の提供について》 この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》 JMDC Claims Database では複数の健康保険組合保険加入者のレセプトデータを収集し、他のデータベースと連結不可能な形で匿名化処理がなされています。これらのレセプトデータには診断名、診療処置、処方薬剤、受診病院・診療所、健診結果などが含まれます。本研究においても取得し分析に使用するデータは全て匿名化処理がされており、研究者が個人情報を扱うことはいたしません。したがって研究者が患者個人を特定することはなく、対象者の方の個人情報が漏れることはありません。また、研究者はどの個人が研究対象者となっているか判断できないため、研究対象者の申し出により該当するデータを研究から除外すること（オプトアウト）はできません。

《本研究の資金源・利益相反について》 この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

《問い合わせ先》

第1版（2021年4月18日作成）

関西医科大学附属病院 脳神経外科 担当医師 診療教授 埜中 正博
〒573-1191 枚方市新町2丁目3番1号
TEL : 072-804-0101